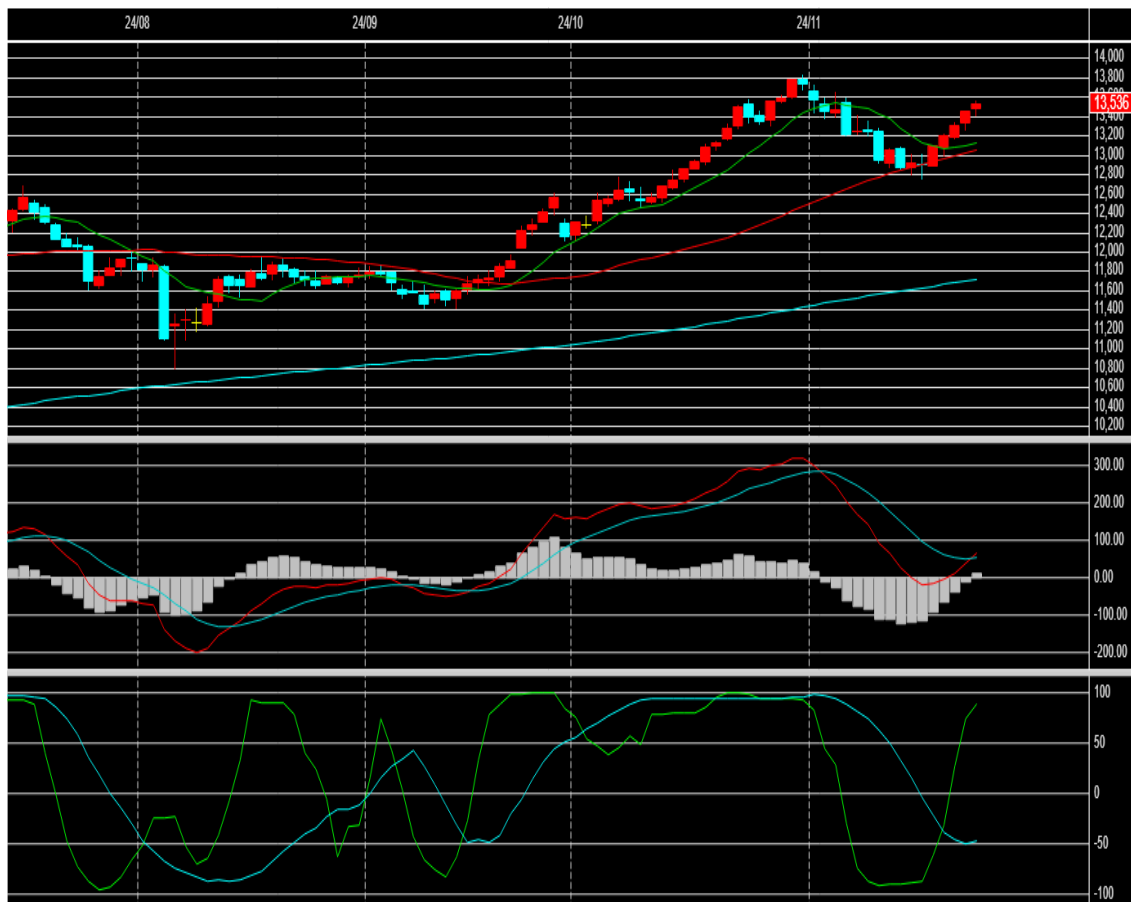


## <金標準、地政学的なリスクの高まりを受けた巻き戻し・・・>



(出所：オアシス)

ウクライナ軍がロシア西部を米国製の「ATACMS」で攻撃を行い、翌日には英国製の長距離ミサイル「ストームシャドウ」を初めて発射したと発表すると、プーチンロシア大統領は同国のドローンを含む通常兵器による大規模攻撃を受けた場合の対応として、核による報復を可能にする大統領令に署名し、核兵器の使用基準を緩和している。またロシア軍はウクライナに対して ICBM (大陸弾道弾) を発射し攻撃を行ったと報じられ、一時欧州における地政学的なリスクの高まりを受け金標準先物は週末には 13560 円まで高値を模索している。またゴールドマン・サックスはレポートで「金に投資しよう」として中央銀行の買いと米国の金利引き下げにより NY 金は 2025 年末までに 1 オンス=3000 ドルという目標を示し、トランプ次期米大統領の任期中には価格がさらに上昇する可能性があるとの見方を示すなど、金標準先物でも過去の高値である 13819 円を目標に高値更新を示す値動きには備えた方が良いと思われる。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が上昇し、シグナルも下げ止まっている。RCI は短期が上昇し、長期も下げ止まっている。特に日足が 10 日移動平均線を上回り、10 日移動平均線が下げ止まった動きに 13200 円を下回る確率は低くなったと思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,527,000 円(2024 年 11 月 25 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2024 年 11 月 25 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>